

研究機関：広島大学

研究課題名
大腸腫瘍に対する超音波内視鏡検査（EUS）による深達度診断の検討
研究責任者名 広島大学病院消化器・代謝内科 教授 岡 志郎
研究期間 2020年11月24日(倫理委員会承認後)～2028年3月31日
対象者 2008年1月から2019年12月の間に、広島大学病院内視鏡診療科で大腸腫瘍に対し術前深達度評価目的にEUSを施行した上で、Endoscopic submucosal dissection（ESD）による治療を受けられた患者さん。
意義・目的 早期大腸癌はその消化管壁内の腫瘍浸潤の程度によって内視鏡治療の適応か否かが定まります。超音波内視鏡検査（EUS）は、文字通り超音波（エコー）装置を伴った内視鏡で、消化管の内腔から消化管壁や周囲組織・臓器などの診断を行う検査です。通常の内視鏡では消化管の表面しか見ることが出来ませんが、超音波を用いることでより詳細な浸潤程度の評価が可能となり、適切な治療方針の決定に有用です。今回、当院における大腸腫瘍に対するEUSの正診率、有用性を明らかにすることを目的に検討します。
方法 本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は性別、年齢、併存疾患、内視鏡所見、病理組織所見です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
共同研究機関 なし
試料・情報の管理責任者 広島大学病院消化器・代謝内科 教授 岡 志郎
個人情報の保護について 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口  〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5537 広島大学病院消化器・代謝内科 教授 岡 志郎 クリニカルスタッフ 上垣内 由季